# 2016年11月期 第1四半期決算説明資料

2015.12.1 - 2016.2.29

# 株式会社バイク王&カンパニー

バイクのことなら

BIKE **王** 

# 目次



1.【個別】	2016年11月期 第1四半期 業績の概況	P. 2
2.【セグメント別】	2016年11月期 第1四半期 業績の概況	P. 7
3.【個別】	2016年11月期 第1四半期 財政状態	P. 11
4.【個別】	2016年11月期 行動計画の進捗	P. 14
5.【個別】	2016年11月期 通期見通し / 配当について	P. 18
6. ご参考	中期経営計画の方針 / 会社概要等	P. 22

(注)原則として表示金額については、百万円未満切捨てで表示しております。



# 【個別】

2016年11月期 第1四半期 業績の概況



2015年11月期1Q

2016年11月期1Q

【バイク買取事業】 販 売 台 数

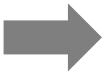
25,627台



22,224台

【バイク小売事業】 販 売 台 数

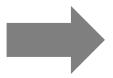
1,999台



1,750台

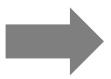
販売費及び 一般管理費

2,096百万円



1,992百万円

経 常 利 益 ▲351百万円



▲500百万円

# 損益計算書

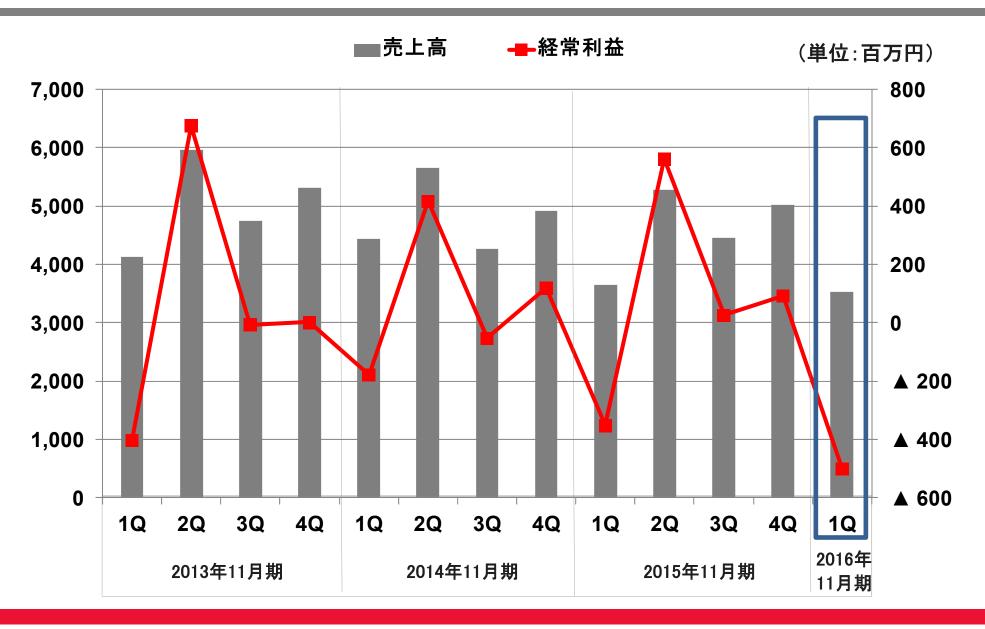


(単位:百万円)

	2015年11月期1Q	2016年11月期1Q	増減額	増減率
売上高	3,654	3,522	<b>▲</b> 131	<b>▲</b> 3.6%
売上原価	1,930	2,049	119	6.2%
売上総利益	1,723	1,473	<b>▲</b> 250	<b>14.5%</b>
販売費及び 一般管理費	2,096	1,992	<b>1</b> 03	<b>4</b> .9%
営業利益	▲ 372	▲ 519	<b>▲</b> 147	1
経常利益	▲ 351	▲ 500	<b>▲</b> 148	-
四半期純利益	▲ 230	▲ 348	<b>▲</b> 117	-

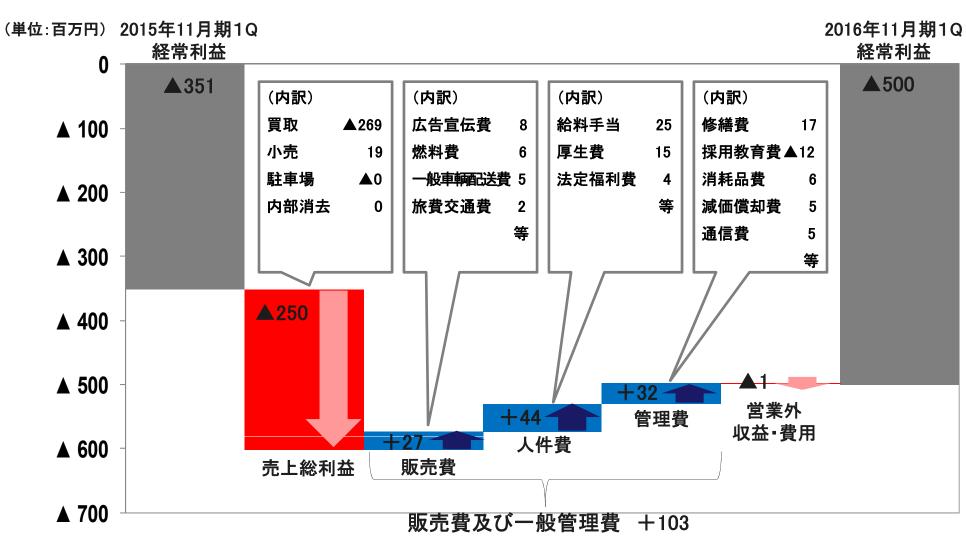
# 四半期毎の売上高 / 経常利益





## 経常利益增減要因分析





(注)販売管理費等の+(プラス)および▲(マイナス)は、利益に対する増減を意味しております。



# 【セグメント別】

2016年11月期 第1四半期 業績の概況

## バイク買取事業 第1四半期 業績の概況



(単位:百万円)

	2015年11月期1Q	2016年11月期1Q	増減額	増減率
売上高	3,018	2,840	<b>▲</b> 177	<b>▲</b> 5.9%
経常利益	▲ 320	▲ 500	<b>1</b> 80	_
販売台数(台)	25,627	22,224	▲ 3,403	<b>1</b> 3.3%
平均売上単価(円)	115,612	127,597	11,985	10.4%
平均粗利額(円)	62,037	59,081	<b>▲</b> 2,956	<b>4.8%</b>

- ・売上高は、平均売上単価が前年同期を上回ったものの、販売台数が前年同期 を下回ったことにより減少
- ・経常利益は、販売台数が前年同期を下回り、平均粗利額が前年同期をやや 下回ったことにより減少

## バイク小売事業 第1四半期 業績の概況



(単位:百万円)

	2015年11月期1Q	2016年11月期1Q	増減額	増減率
売上高	1,017	1,067	49	4.9%
経常利益	<b>▲</b> 26	5	32	_
販売台数(台)	1,999	1,750	<b>▲</b> 249	<b>▲</b> 12.5%
平均売上単価(円)	430,347	497,904	67,557	15.7%
平均粗利額(円)	104,378	120,444	16,066	15.4%

- (注)当社は2016年11月期1Qより営業指標の算出方法を変更しております。 これに合わせて2015年11月期1Qの営業指標も修正しております。
- ・売上高は、販売台数が前年同期を下回ったものの、平均売上単価が前年同期を上回ったことによりやや増加
- ・経常利益は、平均粗利額が前年同期を上回ったことにより増加

## 駐車場事業 第1四半期 業績の概況



(単位:百万円)

	2015年11月期1Q	2016年11月期1Q	増減額	増減率
売上高	200	186	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 7.0%
経常利益	<b>A</b> 3	<b>4</b>	▲0	_

・売上高は、前期における不採算事業地の閉鎖の影響により減少 なお、既存事業地の収益力の向上は奏功



# 【個別】

2016年11月期 第1四半期 財政状態

## 第1四半期 貸借対照表(資産の部)



(単位:百万円)

		2015年11月期期末	2016年11月期1Q	増減額
流動資	<b>奎合計</b>	3,987	3,682	▲ 304
	現金及び預金	2,265	1,683	▲ 581
	売掛金	60	52	<b>&amp;</b> 8
	商品	1,228	1,388	160
固定資訊	<b>奎合計</b>	1,493	1,479	<b>1</b> 3
	有形固定資産	724	700	<b>▲</b> 24
	無形固定資産	80	79	<b>▲</b> 0
	投資その他の資産	687	698	11
資産合	<del> </del>	5,480	5,161	▲ 318

#### <流動資産の減少>

(注)主要な科目を抜粋して表示しております。

主に現金及び預金581百万円の減少と、商品160百万円の増加による

#### <固定資産の減少>

主に減価償却費等による「有形固定資産」24百万の減少と、繰延税金資産の増加等による「投資その他の資産」11百万円の増加による

## 第1四半期 貸借対照表(負債・純資産の部)



(単位:百万円)

	2015年11月期期末	2016年11月期1Q	増減額
流動負債合計	1,040	1,145	105
固定負債合計	267	261	<b>4</b> 5
負債合計	1,307	1,406	99
純資産合計	4,173	3,755	<b>▲</b> 417
負債•純資産合計	5,480	5,161	▲ 318
株主資本比率	76.1%	72.7%	<b>▲</b> 3.4%

(注)主要な科目を抜粋して表示しております。

#### 株主資本比率72.7%と引き続き財務の健全性維持

#### <流動負債の増加>

主に未払金58百万円、買掛金42百万円、前受金の増加や未払消費税の減少等による「その他」23百万円の増加と、未払法人税等36百万円の減少による

#### <固定負債の減少>

主に長期リース債務の減少等による「その他」5百万円の増加による

#### <純資産の減少>

主に利益余剰金417百万円(株主配当69百万円、四半期純損失348百万円)の減少による



# 【個別】

2016年11月期 行動計画の進捗



重点施策	内容
バイク王の総合力の活用 (様々な当社サービスを認知したう えで利用してもらう)	<ul> <li>統一された情報発信を行うため「コーポレートロゴマーク およびサービスブランドロゴマーク」を統一しリニューアル</li> <li>様々な当社サービスを訴求する「新TVCM」を放映</li> <li>当社サービスの認知向上および理解促進を図るツールとして「総合パンフレット」を作成</li> </ul>

### 【ロゴマーク統一】

バイクのことなら

# BIKE **E**

※店舗看板は順次変更

### 【新TVCM】



### 【総合パンフレット】





重点施策	内容
エリアマーケティングの強化	<ul> <li>・地域の特性・ニーズを把握し地域に沿った方針を検討</li> <li>・地域の特性を考慮したサービスを実施</li> <li>〉地域のバイク用品店との協業</li> <li>〉地域限定の配送サービスを実施</li> <li>〉家族構成を考慮した販売サービスの開発</li> <li>・販売チャネルの拡充として「バイク王東大阪店」に小売販売機能を付帯</li> </ul>

### 【バイク王東大阪店】





重点施策	内容
人財育成の強化	<ul> <li>お客様との関わり方に対する考え方や姿勢等についてのナレッジ浸透を図るため「CSコンテスト」を実施</li> <li>出張買取時における上位役職者同行・OJTによる現場力の強化</li> <li>「人財育成 三本の柱」により再構築した研修体系の実施に向けた準備</li> <li>営業力の強化を含めた「豊かな人間性の追求」に資する「グループ別研修」を一部で実施</li> </ul>

### 【CSコンテスト】



### 【グループ別研修】





# 【個別】

# 2016年11月期 通期見通し / 配当について

※期初予想から変更なし



(単位:百万円)

	2015年11	月期実績	2016年11月期予想		1台 2号 安石	描述委
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,412	100.0%	19,132	100.0%	719	3.9%
売上原価	10,076	54.7%	10,559	55.2%	483	4.8%
売上総利益	8,336	45.3%	8,573	44.8%	236	2.8%
販売費及び 一般管理費	8,102	44.0%	8,307	43.4%	205	2.5%
営業利益	234	1.3%	265	1.4%	30	13.1%
経常利益	332	1.8%	356	1.9%	24	7.4%
当期純利益	172	0.9%	207	1.1%	34	20.3%

# 【セグメント別】通期業績予想※期初予想から変更なし



#### ■バイク買取事業

(単位:百万円)

	2015年11月期実績	2016年11月期予想	増減額	増減率
売上高	15,335	15,871	535	3.5%
経常利益	19	40	20	105.2%
販売台数(台)	117,739	117,200	<b>▲</b> 539	▲ 0.5%
平均売上単価(円)	129,290	135,300	6,010	4.6%
平均粗利額(円)	63,117	65,000	1,883	3.0%

#### ■バイク小売事業

売上高	5,232	5,504	272	5.2%
経常利益	321	297	<b>▲</b> 23	<b>▲</b> 7.3%
販売台数(台)	9,160	9,600	440	4.8%
平均売上単価(円)	485,953	489,600	3,647	0.8%
平均粗利額(円)	124,734	125,700	966	0.8%

#### ■駐車場事業

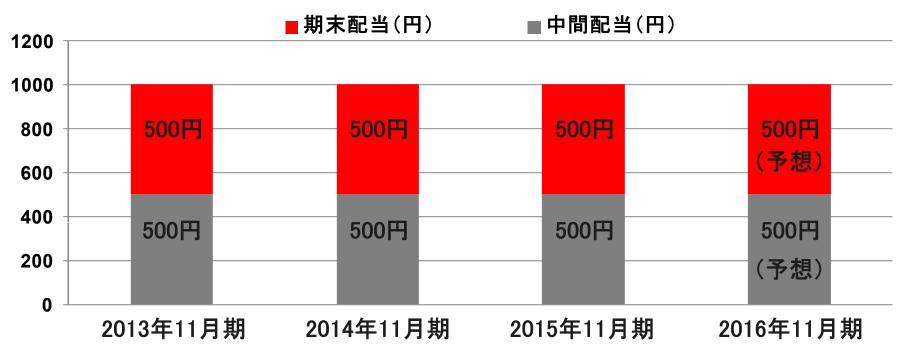
売上高	780	822	41	5.4%
経常利益	<b>A</b> 8	18	27	_

# 通期配当予想について※期初予想から変更なし



- ■基本的な考え方 業績・事業計画等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施
- ■1株当たり配当金額 2016年11月期年間配当(予想) 10円(中間配当5円期末配当5円)







# ご参考

中期経営計画の方針 / 会社概要等



### 【3年後のあるべき姿】

バイクを売るならバイク王



バイクのことならバイク王

### 【基本戦略】

- ・ 当社ビジネスモデルの土台である車輌仕入の最大限の活用
- ・小売の販売チャネルを拡充



### お客様視点の事業展開

- ・エリアマーケティングの強化
- ・新たなサービスの開発・提供

## ビジョン実現に向けての取り組み

### 買取と小売の融合

- ・バイク王の総合力の活用
- ・人員のオールラウンドプレーヤー化
- ・店舗機能の見直し
- ・仕入から販売までの最適化

### 経営体制の強化

- 人財育成の強化
- ・ガバナンスの強化
- ・営業指標等のモニタリング強化

# 会社概要 / 沿革



会社名	株式会社バイク王&カンパニー
本社所在地	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 13階
事業内容	バイクの購入から売却までを トータルプロデュースする 流通サービス業
設立	1998年9月(創業1994年9月)
資本金	590百万円(2015年11月末日現在)
売上高	18,412百万円(2015年11月期)
従業員数	734名(2015年11月末日現在)
役員 代表取締役 社長執行役員 取締役会長 取締役常務執行役員 取締役(社外) 常勤監査役 監査役(社外) 監査役(社外)	石川 秋彦 加藤 義博 大山縣 真樹 山縣 友嘉 産形 昭夫 諏訪 浩 山口 達郎

		沿革
1994年	9月	前身となるメジャーオート(有)を設立 以後、7法人を設立
1998年	9月	(株)アイケイコーポレーションを設立 その後、グループ会社を順次統合
2002年	12月	「バイク王」として看板を備えた初のロードサイド 店舗を出店
2004年	2月	バイク王テレビCMがオンエア開始
2005年	3月 6月 9月	独自の基幹システム「i-kiss」が本格稼働 ジャスダック証券取引所に上場 初の小売販売店を出店
2006年	3月	駐車場事業を営む㈱パーク王を設立(2012年 当社に吸収合併) 東京証券取引所市場第二部に上場
2009年	8月	バイク王が100店舗展開に
2010年	12月	決算期の変更(8月⇒11月)
2011年	3月	株式会社ユー・エス・エスおよび株式会社ジャパンバイクオークションとバイクオークション事業に関する業務・資本提携を開始 「株式会社ジャパンバイクオークション」を株式取得(当社出資比率:30.0%)により関連会社化
2012年	9月	商号変更(旧社名:㈱アイケイコーポレーション)
2014年	2月	東京都港区に本店を移転
2016年	1月	ロゴマークを統一し刷新

### ビジネスネットワーク



北海道エリア

1店舗

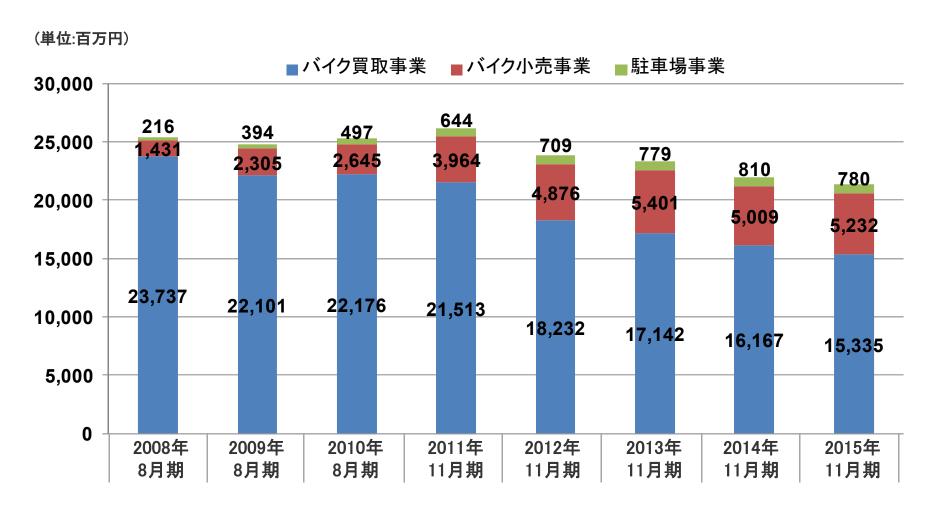
■全国に広がるバイク王&カンパニーのビジネスネットワーク(2016.4.4 現在)

- ◆本社
- ◆バイク王店舗 62店舗
- ◆インフォメーションセンター くさいたま>
- ◆第二インフォメーションセンター <秋田>
- ◆横浜物流センター
- ◆さいたま物流センター
- ◆筑波物流センター
- ◆神戸物流センター



## セグメント別売上高





- (注1) 当グラフの売上高はセグメント間取引消去前の金額となっております。
- (注2) 2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3か月決算のためグラフを省略しております。



#### ■国内保有台数は、比較的価値の高い原付二種以上の保有台数は微増傾向、全体としては微減傾向(単位:千台)

保有台数の推移		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
105 - 121 -	原付一種(~50cc)	7,694	7,448	7,154	6,899	6,661	6,438
125cc以下	原付二種(51~125cc)	1,479	1,511	1,540	1,582	1,626	1,674
125cc超	軽二輪(126~250cc)	1,996	1,992	1,975	1,959	1,969	1,980
	小型二輪(251cc~)	1,505	1,524	1,535	1,542	1,566	1,595
合	計	12,675	12,477	12,205	11,985	11,823	11,688

(出所)一般社団法人日本自動車工業会/各年3月末日ベース

#### ■125cc超の中古流通台数は概ね堅調

(単位:千台)

中古流通台数の推移	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
125cc以下	_	_	-	_	_	-
1 2 5 c c 超	558	553	541	687	670	660
合 計	_	_	-	_	_	_

(出所)二輪車新聞※2012年より小型二輪の集計方法変更

#### ■新車販売台数は37万台に減少

(単位:千台)

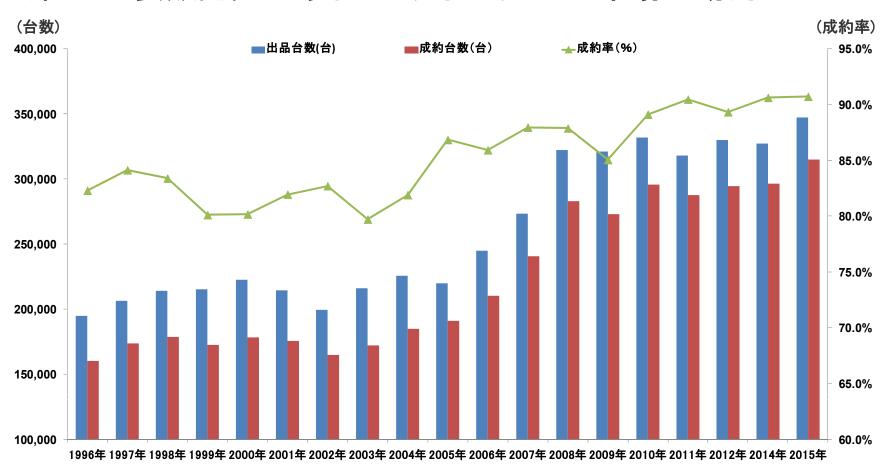
新車販売(出荷)台数の推移		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
105 121 -	原付一種(~50cc)	231	257	246	238	228	193
125cc以下	原付二種(51~125cc)	96	95	90	100	96	94
125cc超	軽二輪(126~250cc)	27	31	39	47	53	48
	小型二輪(251cc~)	25	21	25	31	38	35
合	計	380	405	401	419	416	372

(出所)一般社団法人日本自動車工業会/暦年ベース

## マーケット環境の概要②



### ■当社の主要販売先であるバイクオークション市場の動向



(注) 主なオークションの統計データであり、オークネット社の実績は含まれておりません。 また、2013年はデータが取得できなかったため掲載しておりません。 出典:二輪車新聞

## IRに関するお問い合わせ



本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料の作成は正確性を期すために慎重に行っておりますが、 完全性を保証する ものではありません。本資料中の情報によって 生じた障害や損害について、当社は 一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で 入手可能な情報 に基づき当社が判断したものであり、潜在的な リスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績が言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあることをご承知ください。

### 【連絡先】コーポレートグループ 広報IR担当

TEL: 03-6803-8855

http://www.8190.co.jp/